

一 般 質 問 通 告 書

令和 7年 5月14日

議 会 議 長 様

議席番号 14 番

議員氏名 平 川 忠 良

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 白岡市役所 火災の教訓は	ゴールデンウィークの最終日、5月6日午後11時20分ごろ、白岡市役所本庁舎から出火し、鉄筋コンクリート地上4階地下1階の建物が、火災により1階部分（税務課・市民課・会計課）約800平方メートルが消失しました。出火当時、警備員2人が庁舎内にいましたが無事で、当日6日の午後10時頃、見回りをしていたとのこと。 9日に行われた現場検証の結果、出火原因については「電気系統のショートによる発火の可能性が高い」との発表がされました。 庁舎は築33年、耐震基準はクリアしていましたが、スプリンクラーは設置されておらず、防火設備がある部屋に戸籍などを収容し、電子データはバックアップがあるとのこと。 8日から周辺の公共施設に臨時窓口を設置し、火災の影響により住民情報を扱う基幹系システムが使用できないため、転入・転出・マイナンバーなどに関する事務処理ができなくなっていました。基幹系システムが復旧した13日から一部の事務を再開しました。市は復旧復興の費用に充てるためクラウドファンディングを活用し、来年3月まで、ふるさと納税で寄附を募っています。そこで、以下伺います。 (1) 今回の火災報道を受けて、窪田町長が職員に指示し、町として取り組んだことは。	町長 副町長 管財契約課長 危機管理課長 担当課長

5月14日 午前・午後 8時30分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
2. 5歳児健診の普及へ	(2) 火災の出火原因が「電気系統のショートによる発火の可能性が高い」と発表されたが、町として出火原因に対する対応は何を行ったのか。 (3) 白岡市への支援は。 (4) 当町役場内の防火設備は。 (5) 夜間の警備体制は。 (6) 現在の庁舎は、基幹系システムや町民情報などの電子データ、様々な重要な書類などを火災から防げる状態なのか。 (7) 白岡市役所火災と同じことが、当町役場で発生した場合、行政サービス等の対応は。 (8) 行政サービスの中心拠点として、また、災害対策本部でもある当町役場においても、決して火災を起こしてはならない。改めて、今回の白岡市役所火災を教訓として、町として今後、対策として取り組むことは。 令和6年3月議会の一般質問で、国の補助事業「1か月児健診」「5歳児健診」実施の提案を行い、今年度より「1か月児健診」にかかる費用に対し、上限6千円の助成事業がスタートしました。「5歳児健診」については実施体制整備に時間を要すること、また従事者や財源の確保等が課題との答弁でありました。 政府は令和7年度から発育や健康状態を確認する乳幼児健診を巡り、発達障がい早期発見に有効として「5歳児健診」の普及に向け自治体への支援強化に乗り出しました。支援強化の内容として、自治体への費用助成を子ども1人当たり3千円から5千円に引き上げ、健診を行う医師の育成に向け医師会などの研修費の支援、発達障がいのある子どもをサポートする保健師や心理士への研修費も新たに補助されます。 そこで、伺います。 (1) 一般質問で提案してから1年経つが、検討結果は。 (2) 国の「5歳児健診」普及への取組に対する評価は。 (3) 「5歳児健診」に対する町の見解は。	町長 副町長 健康支援課長 担当課長